

平成20年 / 2008

No. 12

野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ごあいさつ

野口遵顕彰会

会長 清本英男

秋冷の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼を
申し上げます。

さて、早いもので今年もあと1月あまりとなってまいりました。
野口顕彰会の本年度事業は計画通り順調に推移しています。中でも、
平成17年度より新たに実施してきました校外授業『会社はどんな
ところ!!』は10回を終了し、これまでに17校、350名の中
学生の皆さんが延岡市内の企業を訪問して研修しました。

「会社で働くということ」、「働くことの大切さ、大変さ、きび
しさ・・・」を実感するとともに最新の科学技術を駆使して社会のため、
人のために有用な製品をつくらしている会社が自分の住んでいる
この町にあることを誇りにして欲しいと思っています。

これからももっと多くの中学生の皆さんを中心に、世界的に活躍
している会社がこの延岡にもあることや働くことの意義を理解する
機会として、この事業を積極的に計画していきたいと思えます。

なお、本年度の事業実施状況について別紙のとおり報告いたし
ます。

平成20年11月

副読本縮刷版の配付事業

《「のべおか新興の母 野口 遵」》

中学校副読本「のべおか新興の母 野口遵」（冊子）の縮刷版（B6版）を、今年も延岡市、高千穂町、日之影町の中学校24校の2年生全員に6月に配付いたしました（計1,800冊）。

各中学校では朝の読書の時間を活用するなどして、野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市の発展に多大な功績を残したことなど、生徒の皆さんの理解を深めるのに役立てています。



青少年科学技術派遣研修事業

《第8回『ジュニア科学者の翼』》

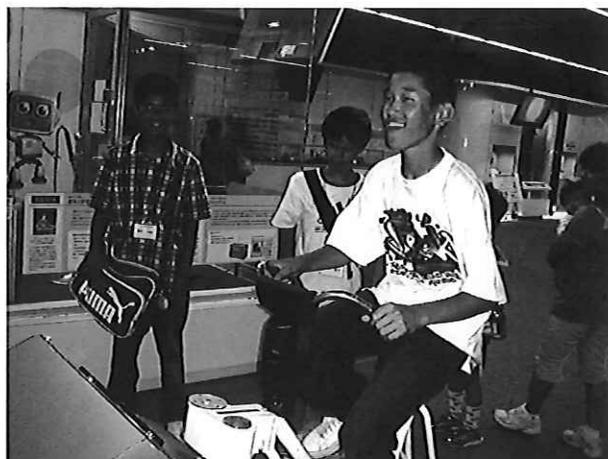
科学技術への関心を高め"夢"と"ロマン"を持って21世紀で活躍する人材への成長を期待して、今年も去る7月29日（火）から8月1日（金）の3泊4日の日程で実施しました。

今回から12名の中学生の皆さんを派遣しましたが、皆さんは関



東地区にあります東芝科学館、日本科学未来館、千葉県立現代産業科学館および国立極地研究所、野口研究所を訪問して研修しました。最先端の科学技術や医療、情報、環境、自然、宇宙等のフロンティア開発、産業など多岐の分野にわたり、科学の不思議さを見て・触れて・確かめることができました。

8月11日(月)の「報告会」では、12名の皆さんは最先端の科学技術に触れるとともに科学の不思議さを楽しんで理解することができて、科学に対する興味、関心がいっそう深まったこと、そして、自分の"夢"につながる内容などその成果を力強く発表して、今回の体験を将来に生かしていきたいと報告しました。



新しい科学技術分野を切り開いていく世界的に高いレベルの日本の科学技術や研究者に触れることができたことは、参加した生徒の皆さんの発想を豊かにし、将来の夢、目標の指針として大いに役立ったことと思います。

今回『ジュニア科学者の翼』に参加した皆さんの中から、第4回野口研究所「学修奨励金」授与者に、延岡中学校2年生 栗原佑季さんが決まりました。栗原さんには、書籍や教材購入費の一助として「学修奨励金」が、高校入学時から高校在学の3年間、毎年10万円が野口研究所から授与されます。



『ジュニア科学者の翼』に参加した生徒および学校名（男子9名：女子3名）

氏名	学校・学年	氏名	学校・学年
伊藤大晴	延岡中学校2年生	佐伯孝弘	三川内中学校2年生
永田悠	岡富中学校2年生	矢野裕太	日之影中学校2年生
大山奨太	南中学校2年生	藤田修平	尚学館中学校2年生
清野蒼依	南中学校2年生	栗原佑季	延岡中学校2年生
甲斐嘉輝	北方中学校2年生	松本はる菜	東海中学校2年生
早田知樹	北川中学校2年生	松田恵	黒岩中学校2年生

※引率 永山新一 延岡市教育委員会 学校教育課指導主事

“校外授業『会社はどんなところ!!』”事業

延岡市内の中学生が市内の会社を訪問して、その会社の優れた技術とその技術をもとにつくられた製品が世の中でどのように役に立っているか、また、経営者から「会社とは・・・」、「会社で働くということ」、「生徒たちへの助言」などの話を直接聞き、また、実際に工場で働いている人達に接することで「働くことの大切さ、大変さ、きびしさ・・・」を理解する機会として、これまでに8回実施しています。

本年度は9回目として去る10月9日（木）延岡市熊野江中学校の全校生徒と先生9名の皆さんが、旭化成の展示センターと旭化成マイクロシステム(株)延岡製造所を見学しました。工場で作られているLSI（集積回路）について、この回路の中に組み込まれている一つひとつのチップ（回路）が髪の毛よりもっと小さい（細かい）ことをマイクروسコープを使って確認し、工場で働いている従業員が着ている「クリーンスーツ」（ごみが出ない作業着）を試着するなど、楽しく学習しました。

また、11月4日（火）には恒富中学校1年生107名の皆さんが3班

に分かれて、旭化成メディカル㈱プラノバ工場（ウイルス除去用膜を製造）、旭化成アイミー㈱延岡製造部（コンタクトレンズを製造）、旭有機材工業㈱延岡製造所（プラスチックバルブ等を製造）をそれぞれ訪問して学習し、また、旭化成展示センターを見学しました。

旭有機材工業でプラスチックバルブの製造工程を見学した生徒の皆さんは、200度以上あるプラスチックの原料を軍手を着用してさわってみたり、バルブの組み立てを実際に体験するなど、学校の授業では味わえないことを学びました。



第8回『野口賞』授与事業

《「産業振興奨励賞」に受賞者決定》



第8回『野口賞』に6件の応募がありましたが、選考委員の皆様による慎重かつ厳正な審査の結果、「産業振興奨励賞」が次のとおり決まりました。

「授賞式」は12月9日(火)ホテルメリージュ延岡にて行い、賞状と賞金30万円を授与します。そして受賞者による講演が行われます。

産業振興奨励賞

- ◆受賞者 前都農町長 河野通継様
有限会社 都農ワイン
取締役支配人 小畑 暁 様
" " 工場長代理 赤尾 誠二 様
株式会社 セレン
代表取締役社長 三輪 晋 様

◆受賞テーマ

『地元産のぶどうにこだわったワインの生産・販売と地元産業の振興』

また授賞式に引き続き、特別講演を予定しています。

◆講演者(第2回『野口賞』受賞者)

九州保健福祉大学 薬学部教授 池脇信直様

◆講演テーマ

『生体免疫反応をコントロールする新生物製剤とジーンターゲット法を用いた疾病と健康診断・評価のシステムの開発』のその後の実施状況

「賛助会員」募集について(お願い)

野口顕彰会では「賛助会員」を常時募集しています。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご紹介をよろしくお願いいたします。

賛助会費は、

(法人) 1口 1万円/年間 : (個人) 1口 1,000円/年間

※1口以上何口でも結構です。

ご入会を希望される方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

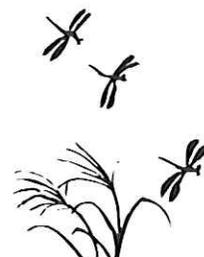
●連絡先

野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0824

宮崎県延岡市中央通り3-5-1 (延岡商工会議所内)

TEL (0982) 33-6666



なお、ホームページを開設していますが、事業の実施状況をはじめ"最新情報"を掲載しています。どうぞご覧ください。

<ホームページアドレス> <http://www.wainet.ne.jp/~noguti-k>